

連合審査会意見一覧(R060917)

No.	発言者	計画の記述(内容)	ご意見等	計画修正有無	計画頁	対応
1	林委員	第2章1(5) 将来の予測が困難な時代の到来	素案11ページに「将来の予測が困難な時代の到来」とあるが、コロナは教育に大きな影響を及ぼしたが、次期教育大綱の中でどう生かされているか。	無	P-11 P-22 ～ P-23	新型コロナウイルス感染症拡大により制限のあった事項、「大津の教員として大切にしたい3つのステップ」を踏まえた、児童生徒との関係づくりなど、計画に反映したポイントについて説明。
2	細川(俊)委員	基本方針1 一人ひとりの可能性を引き出し、心豊かに生きる力を育む (1)-1 現状、課題及び取組の必要性	R6年度 全国学力・学習状況調査の結果について、もう少し具体的に教えてほしい。	無	P-19	全国学力・学習状況調査の結果と課題について説明。
3	細川(俊)委員	基本方針3-⑤ 大津の歴史と文化、伝統を継承する学習機会の充実	・第3期計画期間中の課題のうち「共生社会の実現につながるさらなる社会教育の学びや活動の機会の創出」について、生涯学習における基盤整備そのものが弱くなっていると感じているが、具体的にはどうのことか。 ・社会教育は行政が主体なので推進、生涯学習ならば学びだと思うので、記述について、検討いただければ。※意見	無	P-51 ～ P-55	生涯学習における課題について説明。
4	細川(俊)委員	基本方針1-⑤ 郷土への愛着を育む教育の推進	・郷土への愛着を育む教育については、非常に大切なことだと思う。 ・一方で、国際理解やグローバル社会への対応についても重要ではないかと考えるが、計画に位置付けている部分はあるか。	有	P-24 P-40 ～ P-41	・基本方針1の⑤について説明。 ・国際理解について、基本方針1「④社会に対応できる教育の推進」に含まれると考えているものの、計画内の文言については再度検討する。
5	浜奥委員	基本方針1-⑤ 郷土への愛着を育む教育の推進	・基本方針に、歴史文化、スポーツはあるが、文化芸術が入っていないように思う。文化芸術の言葉を入れていただけないか。 ・意見として、基本方針の中に文化芸術という言葉を入れてほしい。	有	P-41 P-55	・基本方針1-⑤について、取組内容や主な事業等について説明。 ・「文化芸術」の追記について、再度検討する。

連合審査会意見一覧(R060917)

No.	発言者	計画の記述(内容)	ご意見等	計画修正有無	計画頁	対応
6	中川委員	2. 教育施策をめぐる動向	素案12ページの国の計画の概要「13経済的状況、地理的条件によらない質の高い学びの確保」は子どもの貧困に当たるものかと理解するが、素案にはこの点がないように思う。計画に入れておくべきと思うがどうか。	無	P-51	基本方針3-①家庭教育の充実において、就学援助制度等について記載しており、教育と福祉が連携して取り組んでいく旨説明。
7	出町委員	基本方針3の指標について	・「出前講座利用者数」は市の人口と比べてあまりにも少ないが、どうか。 ・市民が主体的に学ぶ場である公民館、コミュニティセンターの利用者数や自主学習サークルの活動などを指標に採用できないか。	無	P-33	出前講座利用者数を選んだ理由について説明。
8	林委員	基本方針3-①家庭教育の充実	素案51ページの「家庭教育の充実」は大切なことだと思うが、家庭に居場所がなかったり、心身の不調を及ぼすような環境であったり、そういった子どもに対してはどのように教育が保障されるか。	無	P-52	基本方針3-②地域全体で子どもを育てる機会の充実において地域全体で子どもを育てる環境づくりの推進を位置付けているとおり、一体的に取り組んでいきたい。
9	柏木委員	本市を取り巻く環境の変化や動向	・素案6ページ「本市を取り巻く環境」の人口減少に関して、本市では待機児童が増えたり、小学校で教室が足りなかったりという状況があるが、本市の子どもへの人口については、どう把握されているか。 ・中心部や新興住宅地では子育て世帯が多いというような偏在があると思うが、そういった特徴を施策に反映する必要があるのではないか。	無	P-6	人口ビジョンに基づき説明。
10	柏木委員	(3)教育上の課題の多様化、複雑化	素案9ページに「不登校の児童生徒数」が比率で記載されているが、実数や5年前に比して何倍になっているというような表現にしてはどうか。	無	P-9	全国平均や滋賀県平均と比較するために割合で記載していることを説明。

連合審査会意見一覧(R060917)

No.	発言者	計画の記述(内容)	ご意見等	計画修正有無	計画頁	対応
11	柏木委員	基本方針2 すべての子どもが安心して学べる教育を推進する (2)－1現状、課題及び取組の必要性	・不登校等の状態にある子どもや保護者への支援として、公的な教育機関による支援に加え、NPO等の民間事業者との連携・協力が記載されているが、このなかにフリースクールは含まれるのか。 ・不登校については、フリースクールは民間事業者の中ではかなりウエイトを持って受け入れ支援もされており、基本方針の「課題」の中に入れてはどうか。 ※意見	有	P-28 P-47	基本方針2－④きめ細やかな支援・相談体制の充実の取組の内容において、校内ウイングや教育支援センター等の多様な支援体制の構築とともに、フリースクールについても民間施設との連携のひとつとして既に記載している。 ※よりわかりやすくするため第3章への追記も検討
12	細川(俊)委員	基本方針2 すべての子どもが安心して学べる教育を推進する (2)－1現状、課題及び取組の必要性	・フリースクールには、学校を肯定するもの、否定するもの、連携を好むもの、そうでないもの様々なものであるので、この表現でいいと思う。フリースクールを出席としてカウントするのは、公教育では慎重に検討されてはどうか。※意見	無	P-28 P-46 ～ P-47	※意見として承る
13	細川(俊)委員	計画全般	・計画について、全体的に非常にわかりやすくなった。 ・現計画では「価値」を多用されていたが、今回は少なくなって分かりやすくなった。人権教育のところに使われているが、権利の主体者として尊重されるということだと思うので、整理していただけたら。※意見	無	P-37	※意見として承る
14	草川委員	基本方針2－③ 教職員の資質向上	・子どもの意見表明権も話題となっているが、子ども目線の文言を使った方がいい。 ・46ページだが、教職員の年齢層が若い先生がたくさんおられる中で、風土の醸成に(2)が重要となると思うので、よろしくお願ひしたい。 ・教職員の資質向上も大事だが、人手不足について、量的な向上についてどう取り組むか。	無	P-46	スクールサポートスタッフや学校支援生活支援員などの人材を確保し、仕事の量的な軽減につながるように努めている旨説明。
15	出町委員	※第3期点検評価の結果について	第3期計画の進行管理の報告書について、学びと活動の循環について触れられているが、次期計画の対応としてどのように取り上げているか。	無	P-19	基本方針3－③の取組の内容で学びと活動の循環の促進について記載している旨説明。

連合審査会意見一覧(R060917)

No.	発言者	計画の記述(内容)	ご意見等	計画修正有無	計画頁	対応
16	出町委員	基本方針3 ともに学び支え合う社会の実現を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習成果の活用支援」について、公民館等の事業を通じた社会教育の機会の提供や生涯学習専門員等の人材の配置によって生涯にわたり学び合う人材を育成するための施策をどのように展開していくかということが、具体的に記載されている箇所があるか。 ・コミュニティセンターの社会教育の推進は、どのような施策を展開されるか、記載箇所はあるか。 ・公民館、コミュニティセンターを問わず、市として主体的に関与していただきたい。 	無	P-53	基本方針3-③生涯にわたり学び支え合う人材の育成の主な事業等において、公民館、コミュニティセンターにおける主体的な学びの推進を位置付けている旨説明。
17						
18						
19						
20						